

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



MGI031-12

会場:201A

時間:5月25日 16:00-16:15

ICSU 世界データシステム (WDS) の概要 ICSU World Data System (WDS)

渡辺 堯^{1*}

Takashi Watanabe^{1*}

¹ 名古屋大学太陽地球環境研究所

¹ STELAB, Nagoya University

ICSU (国際科学会議) では、国際地球観測年 (IGY) 以来 50 年以上にわたって活動してきた World Data Center (WDC) と Federation of Astronomical and Geophysical data-analysis Services (FAGS) とを統合して、ICSU 傘下の新しい国際データセンター組織として、2008 年 10 月より World Data System (WDS) を設置した。WDC と FAGS は主に天文・地球科学系のデータ活動を行ってきたが、WDS では扱うデータの範囲を自然科学全般から人文・社会系 科学分野まで拡大することを目指している (<http://icsu-wds.org/>)。現時点では約 100ヶ所のデータセンターが関心を示しており、正式な加入申請が開始されたところである。

WDS では以下の目標を掲げている。

- * 科学データ・情報提供・利用の平等性の確保
- * データ・情報の安定した提供により、ICSU が推進する事業をサポート
- * データの品質標準を定める
- * WDS に参加するデータセンター等の評価システムを作る
- * データ利用システムの整備
- * データ利用の簡便化を図る
- * 品質管理されたデータ・情報の提供
- * 国際的な情報格差の軽減

旧 WDC 時代においては個々の WDC が個別に活動しており、全体を一つのシステムとして機能していないという批判があり、それが WDS への移行が考えられた要因の一つとなっている。そこで WDS では分野横断型データ利用に対応できるシステムの構築が重要な意味を持つ。また WDC では品質管理のなされたデータの提供が重視されていたが、WDS においては更にそれを一歩進めて、データセンターが提供するデータのピア・レビュー等によってデータの品質保証を与えることが考えられている。そして論文等において、参考文献の citation が重要視されているように、データ・ソースの citation を慣例化することは、データセンターの存在意義を証明する上で重要なため、WDS が各研究分野の国際組織や出版社に強く働きかけることが要請されている。このような WDS の目標を具体化するため、2011 年より WDS の国際事務局 (WDS- IPO) が情報通信研究機構 (NICT) に設置されることになっており、我が国が WDS において中心的な役割を果たすことが期待される。また 2011 年 9 月 3 - 6 日には、京都市において WDS の科学シンポジウム (<http://wdc2.kugi.kyoto-u.ac.jp/wds2011/>) が開催される予定である。

キーワード: データ, データセンター, ICSU

Keywords: Data, Data Center, ICSU, WDS